

全国大学対抗簿記大会 第61回大会
81大学から3,118名が参加し、6月2日に開催
初の海外会場であるベトナムからも8名が参加し健闘

学校法人大原学園(本部:東京都千代田区、理事長:中川 和久)は、『全国大学対抗簿記大会 第61回大会』を、2018年6月2日にイタリア大使館・日本公認会計士協会・東京税理士会の後援のもと開催しました。<http://www.o-hara.ac.jp/newsnews/>



1988年より開催しており、今回で61回を迎える本大会。「簿記の発展と交流の輪を広げる」「職業会計人を増やす」ことを目標に、春と秋の年2回、全国の大原グループ各校を会場として開催される、簿記のインターカレッジです。1週間後に控えた日本商工会議所簿記検定試験への腕試しにと、毎回全国の会場に数多くの参加者が集まっています。

<競技内容>

個人戦及び団体戦にて3級・2級・1級の3部門を実施(日本商工会議所簿記検定試験レベル)

※競技時間は、簿記3級・2級は100分間、1級は120分間となります。

※団体戦は、簿記3級・2級は5名以上、1級は3名以上を1チームとし、チームを編成

- ・参加大学数(個人戦・団体戦): 81大学
- ・参加者数(個人戦・団体戦): 3,118人
- ・参加チーム数(団体戦): 411チーム (1級:35、2級:46、3級:330)

<ベトナム・ハノイにて海外初開催>

今回から初の海外会場としてベトナムが加わり、8名が参加しました。ベトナムでは、NPO法人ベトナム簿記普及推進協議会が日本語による簿記コースを大学の講義として開講しており、大原学園のサポートのもと現地の学生が日本の経営の基礎と専門用語を学ぶ機会を提供しています。



初参加にもかかわらず、3級団体戦では330チーム中165位と健闘。3級個人戦でも、1人が2675人中305位の好成績を修めました。

<競技結果>

個人戦1級の優勝者は、山口大学の佐野 海斗(さの かいと)さん。イタリア大使館の後援により、近代会計学の父と呼ばれるイタリアの数学者の名を冠した「ルカ・パチョーリ賞」が贈られました。

<http://www.o-hara.ac.jp/newsnews/kekka2.html>

団体戦1級の優勝者は、千葉商科大学の瑞穂会・Bチーム。日本公認会計士協会の後援により、「日本公認会計士協会賞」が贈られました。

<http://www.o-hara.ac.jp/newsnews/kekka.html>

<イベント概要>

名称：全国大学対抗簿記大会 第61回大会

後援：イタリア大使館・日本公認会計士協会・東京税理士会

開催日時：2018年6月2日(土) 午後(時間は会場により異なります)

開催場所：12会場(仙台会場・水道橋会場・池袋会場・町田会場・横浜会場・名古屋会場・京都会場・大阪会場・神戸会場・福岡会場・小倉会場・ベトナム会場)

参加費：1人300円(税込)

参加資格：大学1~4年生・大学院生(専門職大学院含む)の方で、1994年4月2日以降生まれの方

<http://www.o-hara.ac.jp/newsnews/jitaikai.html>

<次回実施予定>

2018年11月10日(土)

<http://www.o-hara.ac.jp/newsnews/jitaikai.html>

本件リリースに関するお問い合わせ先

学校法人大原学園 プレス担当：林田 朋子

TEL 03-6811-0572 E-mail: press@mail.o-hara.ac.jp